

(五枚のうち一)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、すべて解答用紙に記入すること。)

一 次の文章を読んで、問一～問五に答えなさい。



著作権保護の観点により、掲載いたしません。

(五枚のうち二)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、すべて解答用紙に記入すること。)

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

(大岡 昇平「現代小説作法」による。)

受験番号

氏名

(答えは、すべて解答用紙に記入すること。)

問一 ①〜⑥の語について、カタカナは漢字に直し、漢字はその読みを書きなさい。

問二 1 それは何を指しますか。二十字以内で書きなさい。

問三 2 「き下ろしています」とありますが、漱石がこのように「ブフォア」を低く評価したのはなぜですか。その理由を、小説の描写についての漱石の考え方にふれて書きなさい。

問四 A にあてはまる最も適切な語を、次のア〜エの中から選び、その記号を書きなさい。

ア 完璧 イ 杞憂 ウ 蛇足 エ 矛盾

問五 3 スリルは遊離して、読者の神経だけを刺激すると、ありますが、これはどのようなことを述べようとしたものですか。書きなさい。

〔二〕平成二十九年三月告示の中学校学習指導要領 国語 各学年の目標及び内容 「第2学年」 2 内容 「思考力、判断力、表現力等」 B 書くこと (1) イ には、「伝えたいことが分かりやすく伝わるように、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫すること。」として構成の検討に関する指導事項が示されています。また、ウ には、「根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫すること。」として考えの形成、記述に関する指導事項が示されています。第二学年の生徒を対象に、意見文を書くという言語活動を設定して、構成の検討及び考えの形成、記述に関する指導を行ったところ、ある生徒が、次の表にある意見文を書いてきました。構成の検討及び考えの形成、記述の指導事項に基づいて、この意見文のどのような点を課題として取り上げ、生徒に対してどのような指導を行いますか。取り上げる構成の検討に関する課題とそれに対する指導、考えの形成、記述に関する課題とそれに対する指導を、それぞれ書きなさい。

生徒の書いた意見文

私は、中学生のスマートフォンの使用を制限すべきだと思う。

一つめの理由は、健康によくないからである。スマートフォンを使い続けていると、画面をのぞき込んでいる時間が長くなり、視力が低下したり、姿勢が悪くなったりすると思う。健康のためにスマートフォンを使用すべきではない。

二つめの理由は、時間の管理ができなくなるからである。スマートフォンがあると、インターネットやゲームをし続けてしまい、時間を忘れてしまう。そのせいで、やらなくてはいけないことを後回しにしてしまう。最近、宿題を忘れている人の多くは、いつもスマートフォンの話ばかりしている。やるべきことを先にやらないから、先生に怒られてしまうのだ。

以上のことから、私は、中学生はスマートフォンを使用する前にやるべきことをきちんとやるようにすべきだと思う。

受験番号	
氏名	

(答えは、すべて解答用紙に記入すること。)

三 次の文章を読んで、問一～問五に答えなさい。

さて谷にはすべき方なくて、石のそばの、折敷の広さにてさし出でたる片そばに尻をかけて、木の枝をとらへて、少しもみじろぐべき方なし。いささかもはたらかば、¹谷に落ち入りぬべし。いかにもいかにもせん方なし。かく鷹飼を役にて世過せど、幼くより観音經を読み奉り、たもち奉りたりければ、「助け給へ」と思ひ入りて、ひとへに頼み奉りて、この經を夜昼いくらともなく読み奉る。「弘誓深如海」とあるわたりを誦む程に、谷の底の方より物のそよそよと来る心地のすれば、「何にか^aあらん」と思ひて、やをら見れば、えもいはず大きな蛇なりけり。長さ二丈ばかりもあるらんと見ゆるが、さしにさして這ひ来れば、「我はこの蛇に食はれな^bんずるなめり。悲しきわざかな。観音助け給へ」とそ思ひ^A、こはいかにしつる事ぞ」と思ひて念じ入りてある程に、ただ来に来て、我が膝のもとを過ぐれど、我をのまんと²さらせせず。ただ谷より上さまへ登らんとする気色なれば、「いかがせん、ただこれに取り着きたらば、登りなんかし」と思ふ心つきて、腰の刀をやはら抜きて、この蛇の背中に突き立てて、それにすがりて、蛇の行くままに引かれて行けば、谷より岸の上さまにこそそと登りぬ。その折、この男離れて退くに、刀を取らんとすれど、強く突き立てければ、え抜かぬ程に、引きはつして、背に刀さしながら、蛇はこそと渡りて、向ひの谷に渡りぬ。この男うれしと思ひて、家へ急ぎて行かんとすれど、この二三日、いささか身をもはたらかさず、物も食はず過したれば、影のやうに痩せさらぼひつつ、がつがつと、やうやうにして家に行き着きぬ。

さて家には、「今はいかがせん」とて、跡とふべき経仏の営みなどしけるに、かく思ひかけずよろほひ来たれば、³驚き泣き騒ぐ事限りなし。かうかうの事と語りて、「観音の御助けにて、かく生きたるぞ」と、あさましかりつる事ども、泣く泣く語りて、物など食ひて、その夜はやすみて、⁴とめてとく起きて、手洗ひて、いつも読み奉る經を読まんとて引きあげたれば、あの谷にて蛇の背に突き立てし刀、この御経に、「弘誓深如海」の所に立ちたり。見るに、いとあさましなどはおろかなり。「こは、この經の蛇に交じて、我を助けおはしましけり」と思ふに、あはれに貴く、かなし、いみじと思ふ事限りなし。⁵そのあたりの人々これを開きて、見あさみけり。

(「宇治拾遺物語」による。)

- 問一 a あらん、b んずるをそれぞれ文法的に説明しなさい。
- 問二 A にあてはまる助動詞「つ」について、適切な活用形にして書きなさい。
- 問三 1 谷に落ち入りぬべし、²さらせせず、⁴とめてとく起きてを、それぞれ口語訳しなさい。
- 問四 ³驚き泣き騒ぐ事限りなしとありますが、男の家の者が驚いたのはなぜですか。その理由を四十字以内で書きなさい。
- 問五 ⁵そのあたりの人々これを開きて、見あさみけりとありますが、人々が驚嘆したのはなぜですか。「これ」の内容を明らかにして、その理由を八十字以内で書きなさい。

四 平成二十九年三月告示の中学校学習指導要領 国語 各学年の目標及び内容 「第2学年」 2 内容 「知識及び技能」 (3)

ウ (イ) には、「目的や必要に応じて、楷書又は行書を選んで書くこと。」と示されています。このことについて、楷書と行書の使い分けについて考えさせる指導を行うこととします。どのような日常生活や社会生活の具体的な場面を取り上げて楷書と行書の使い分けについて指導しますか。楷書を使う具体的な場面とその場面が楷書を使うのにふさわしいと判断できる理由、行書を使う具体的な場面とその場面が行書を使うのにふさわしいと判断できる理由をそれぞれ書きなさい。

(五枚のうち五)

受験番号	
氏名	

(答えは、すべて解答用紙に記入すること。)

【五】 次の文章を読んで、問一～問六に答えなさい。(設問の関係で返り点・送り仮名を一部省略している。)

宋ニ有^ニリ富人^一。天 雨フリテ 牆^{かき} 壞ル。其ノ子 曰ク、「不^レハ 築カ¹ 且^レニ有^レラント 盜^一。」
 其ノ隣 人之 父モ **A** 云フ。暮^レテ而 果タシテ 大イニ 亡^ニフ 其ノ 財^一ヲ。其ノ家 甚^ダ
 知^ニナリトシ 其ノ子^一ヲ而モ 疑^ニフ 隣 人之 父^一ヲ。

昔^a 者 鄭ノ 武 公 欲^レシ 伐^レタント 胡ヲ、 迺^{すなは}チ 以^ニテ 其ノ 子^一ヲ 妻^レハス^ニ之^一。 因^b 問^ニヒテ
 群 臣^一ニ 曰ク、「吾 欲^レス 用^レキ 兵ヲ。 誰カ 可^レキ 伐^ツ者ソ。」 関 其 思 曰ク、「胡
 可^レシト 伐^ツ。」 迺^チ 戮^ニシテ 関 其 思^一ヲ 曰ク、「胡ハ 兄 弟 之 国 也。 子 言^レフハ 伐^レタント
 之^レヲ 何^ソ也ト。」 胡 君 聞^レキ 之^レヲ、 以^レテ 鄭ヲ 為^シテ 親^レシムト 己^ニ而 不^レ備^レヘ 鄭^ニ。
 鄭 人 襲^レヒテ 胡ヲ 取^レル^レ之^レヲ。

此ノ二ハ、説^ク者 其ノ 知 皆 当^レリ 矣。 然^レドモ 而 甚^ダシキ 者ハ 為^レ 戮^サ、 薄^キ 者ハ
 見^レ 疑^ハ。 非^ニザル 知^ルコト 之 難^キニ 也。 処^スルハ 知^ニ 則^チ 難^キナリ 矣。

(「史記」による。)

(注) 関其思 Ⅱ 鄭の武公に仕えた人物。

問一 **A** にあてはまる最も適切な語を、次のア～オの中から選び、その記号を書きなさい。

ア 而 イ 与 ウ 欲 エ 亦 オ 非

問二 昔^a 者、 因^b の本文中における読み方を、送り仮名も含めてそれぞれ現代仮名遣いで書きなさい。

問三 且¹ 有^ラント 盜^一、 誰²カ 可^キ 伐^ツ者^ソを、それぞれ口語訳しなさい。

問四 鄭 人 襲^レヒテ 胡ヲ 取^レル^レ之^レヲとありますが、胡は、なぜ奪い取られたのですか。その理由を六十字以内で書きなさい。

問五 見^レ 疑^ハを、書き下し文にしなさい。

問六 処^スルハ 知^ニ 則^チ 難^キナリ 矣とありますが、筆者は、なぜこのように述べるのですか。その理由を六十字以内で書きなさい。

中学校 国語科 解答用紙

(四枚のうち二)

受験番号	
氏名	

二						問題番号
問五	問四	問三	問二	問一		解答欄
				④	①	
				⑤	②	
				⑥	③	

31

中学校 国語科 解答用紙

(四枚のうち二)

受験番号	
氏名	

問題番号	
解答欄	

構成の検討に関する課題

構成の検討に関する指導

考えの形成、記述に関する課題

考えの形成、記述に関する指導

二

